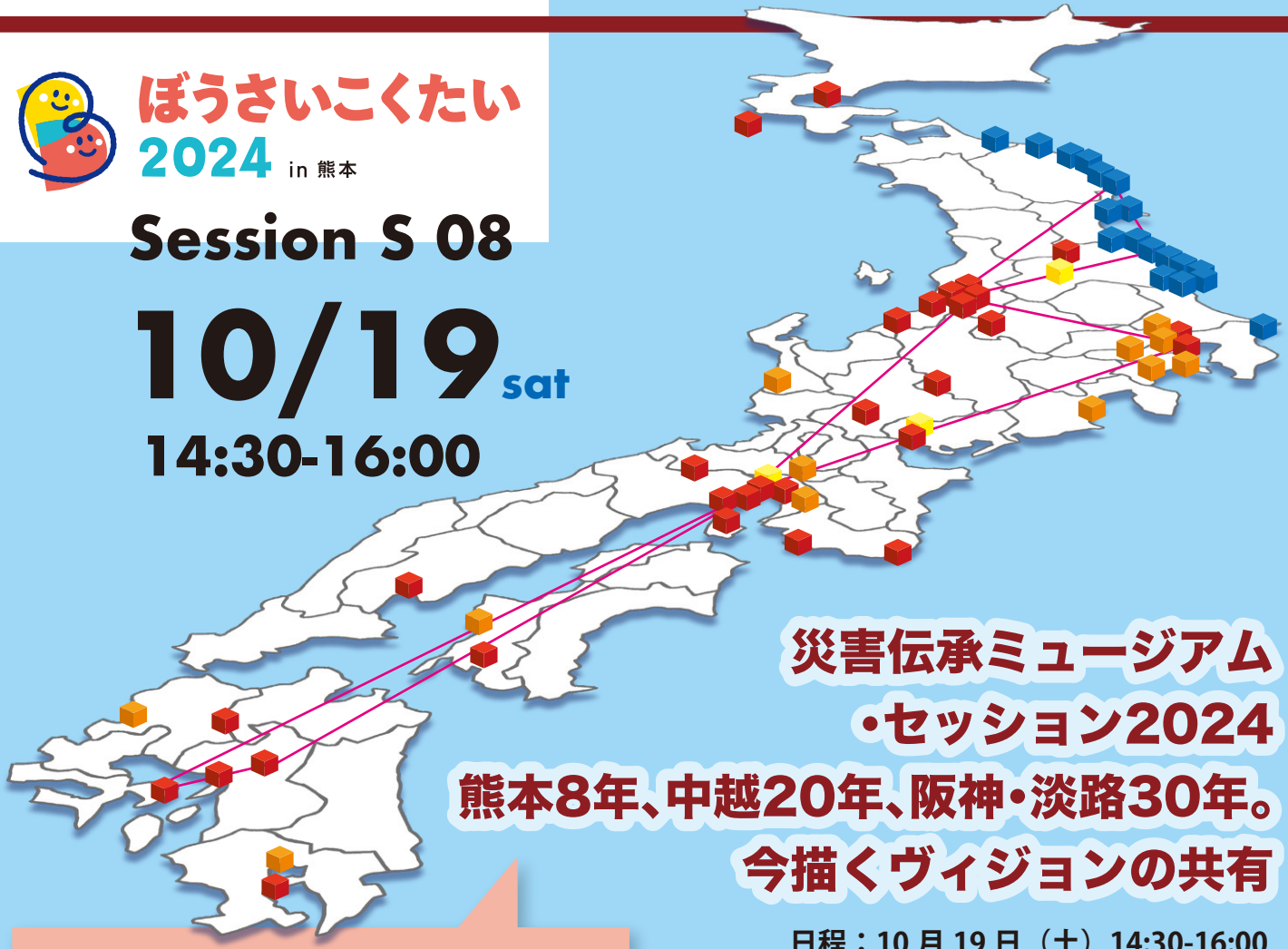
ぼうさいこくたい 2024 in 熊本

Session S 08

10/19 sat

14:30-16:00



災害伝承ミュージアム・セッション2024
熊本8年、中越20年、阪神・淡路30年。今描くヴィジョンの共有

日程：10 月 19 日（土）14:30-16:00

会場：熊本城ホール 3F 会議室 A1

（オンラインのリアルタイムはなし
後日アーカイブ動画を公開予定）

熊本地震から8年。現地では複数の遺構・伝承施設の整備が進んできました。またこの時期は、新潟県中越地震から20年、そして阪神・淡路大震災30年を目前とする時でもあります。これらの災害にまつわる伝承施設の事例を通じ、災害伝承の現場の現在の姿を捉えます。そして、これらの場が生き生きとミッションを遂行する上で欠かせない、施設運営者・活用者の側面からの情報と合わせ、日本の災害伝承ミュージアムの現在の課題・将来のヴィジョンを共有します。

災害伝承の送り手・施設の利用者のどちらの立場の方も、全国の災害伝承の現場に携わる方・興味関心のある方に、日本各地の施設の現在の状況の理解を深めていただき、また互いに知り合う機会としていただければ幸いです。

パネリスト

熊本地震震災ミュージアム KIOKU 統括ディレクター **久保 尭之**

熊本地震震災ミュージアム KIOKU 語り部ガイド **豊田 卓子**

公益社団法人中越防災安全推進機構 事務局長・業務執行理事 **諸橋 和行**

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 誘客・運営業務担当 **松村 嘉奈子**

コメンテーター

国立民族学博物館 名誉教授、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 資料室 震災資料研究主幹 **林 勲男**

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長 **河田 惠昭**

参加方法：
申し込みフォームからお申し込みください。
空きがあれば当日参加もできます。
（当日約 10 分前より受付・入場開始の見込み）

特設サイトからも申込フォームにリンクしています。

https://hitobou.com/museum-network/

主催：阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

問い合わせ窓口・連絡先：
Email: event@hitobou.com
阪神・淡路大震災記念　人と防災未来センター事業部運営課　担当　企画 D：平林
〒651-0073　兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2 西館 5 階 TEL: 078-262-5502

ぼうさいこくたい 2024 in 熊本 Session S 08

災害伝承ミュージアム・セッション2024
熊本8年、中越20年、阪神・淡路30年。今描くヴィジョンの共有

パネリスト

久保 尭之（くぼ たかゆき） 氏
熊本地震震災ミュージアム KIOKU
統括ディレクター

1991 年鹿児島県生まれ、東京大学工学部卒。東日本大震災後に東北の一次産業の復興に取り組んだ後、2016 年熊本地震発災直後より熊本入りして活動を開始。地域再建には産業復興が不可欠との思いから、みなみあそ観光局（地域 DMO）の体制整備を行い、その一環として防災教育プログラムの造成・受け入れや語り部ガイド育成、震災遺構の管理・利活用にも取り組む。2023 年 7 月の熊本地震震災ミュージアム KIOKU 開館時より統括ディレクターを務める。

諸橋 和行（もろはし かずゆき） 氏
公益社団法人中越防災安全推進機構
事務局長・業務執行理事

長岡技術科学大学大学院修了、博士（工学）。専門は雪氷工学。前職にて、国の豪雪地帯・過疎地域対策等に関する調査研究及び政策立案に従事。2010 年より「長岡震災アーカイブセンターきおくみらい」の施設運営等に携わる中越防災安全推進機構に所属。

豊田 卓子（とよた たくこ） 氏
熊本地震震災ミュージアム KIOKU
語り部ガイド

1966年長崎県生まれ。2004年に南阿蘇村に自宅を新築。2016 年熊本地震時は長崎在住であったが、2021 年に移住し翌年 1 月から「旧東海大学阿蘇キャンパス震災遺構」にてガイドを始める。2022 年秋に阿蘇ユネスコジオパークガイド協会のガイド資格も取得。2023 年 7 月、同震災遺構に「熊本地震震災ミュージアム KIOKU」開館後、継続してガイドとして活動中。

松村 嘉奈子（まつむら かなこ） 氏
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
事業部運営課　誘客・運営業務担当

人と防災未来センターでは 2005 年から来館者対応ディレクターとして勤務。2011 年より運営課で誘客・運営業務担当として広報業務等を担う。

コメンテーター

林 勲男（はやし いさお）氏
国立民族学博物館 名誉教授、
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター資料室
震災資料研究主幹

河田 惠昭（かわた よしあき）氏
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長

パネリストにゆかりの災害伝承ミュージアム

熊本地震 震災ミュージアム
KIOKU

熊本地震 震災ミュージアム KIOKU

熊本県が「熊本地震 記憶の回廊」として整備した回廊型フィールドミュージアムの中核をなす体験展示施設。2023 年 7 月に開館。くまもとアートポリス推進賞受賞の展示施設に、地表地震断層を含む震災遺構が併設。また熊本復興プロジェクトにより「ONE PIECE ロビン像」を有するのも特徴。防災教育や震災遺構の管理を担っていた一般社団法人みなみあそ観光局（地域 DMO）を中心とする共同体が、指定管理者として運営。地域の語り部ガイド約60名が活躍。周辺の震災遺構を絡めた防災教育プログラムや、毎週末には防災イベントなども行う。

長岡震災アーカイブセンター
Nagaoka Earthquake Archive Center
きおくみらい

長岡震災アーカイブセンターきおくみらい

2004.10.23 新潟県中越大震災の震災メモリアル施設。新潟県長岡市に 2011 年開館。中越メモリアル回廊としてリンクする 4 施設の 1 つ。長岡市が設置した災害・復興の経験と教訓の発信拠点。2006 年に設立の公益社団法人中越防災安全推進機構が運営。機構は中越地域等の教育・研究機関、市民、行政、企業・諸団体等との協働のもと、きおくみらいの他、災害に強い地域づくりのための「地域防災力センター」、持続可能な地域づくりのための「にいがたイナカレッジ」を運用。その他、被災地支援活動等も行う。

阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター
DRI
The Great Hanshin-Awaji Earthquake Memorial Disaster Reduction and Human Renovation Institution

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

神戸市中央区に所在。1995.1.17 の阪神・淡路大震災の経験と教訓を伝える施設。震災当時を伝える映像上映、震災関連資料展示、語り部による講話のほか、地震・風水害を含む自然災害のメカニズムや避難方法を学ぶ体験型展示等を行う。兵庫県により 2002 年に開設。以来、小・中学校の団体旅行など、年間約 50 万人の来館者を迎え、本年 9 月 1,000 万人を達成。また、展示施設の他、震災資料の収集保存、実践的防災研究、災害対策専門研修等、複数の機能を有する組織として、公益財団法人 ひょうご震災記念 21 世紀研究機構が指定管理者として運用。

日本災害伝承ミュージアム・ネットワーク
屋外展示 021 に出展！ https://hitobou.com/museum-network/

全国の災害伝承ミュージアムのつながりの場づくりに取り組んでいます。
「人と防災未来センター」が自主的に事務局を担っています。
ウェブサイトにこれまでの取り組みをアーカイブしています。

ぼうさいこくたい 2024 in 熊本
10/19(土)・20(日)
入場・参加 無料
一部オンラインでも配信予定
写真提供：熊本城総合事務所